

## スマートシティ構想と 行政のデジタル化の推進

2021年から羽咋市が取り組み始めたスマートシティ構想を前進させるため、専門的な知見から行政職員をサポート。同時に市の課題を抽出し、ICTを活用して解決するための事業案を立案した。

### ▼ 取り組み内容

**Step 1**  
現状把握  
職員や市民へのヒアリングなどを通じ、暮らしや教育など幅広い分野の不安や不満、課題を洗い出し。

**Step 2**  
戦略見直し  
市の掲げる総合戦略について、スマートシティ構想や行政のデジタル化を推進する視点からブラッシュアップした素案を提示。

**Step 3**  
データ分析  
・民間連携  
市の保有するデータなどを整理・分析したほか、ICT活用に向けた民間企業との連携をサポート。

**Step 4**  
提案書作成  
Step1で抽出した課題を、ICTを活用して解決する事業案をまとめたスマートシティ事業提案書を作成。

### 受入企業

## 羽咋市

総務部長 山本 裕一 さん

人口20,055人（2023年3月1日現在）、面積81.85平方キロメートル。能登半島の付け根部分の西側に位置する。日本で唯一、砂浜を車で走ることのできる千里浜なぎさドライブウェイや棚田が広がる神子原の田園風景など、美しい自然が魅力。神社仏閣や貴重な文化財、勇壮な祭りなど、歴史が息づくまちとしても知られる。

### 研究員

石政 龍矢 さん

静岡県出身。大学院修了後、静岡県庁に入り、約5年半にわたって行政事務や県立高校の事務、保育園や老人福祉施設の運営・監査などに携わってきた。県庁に勤める傍ら、社会人学生として立教大学大学院人工知能科学研究科で学び、スマートシティに関する理論について研究した。

共創型企業・人材展開プログラム 事例

CASE

ICTを活用した  
市民の利便性向上と  
まちづくりの推進

取り組みの成果  
・  
今後の取り組み

- ・スマートシティ構想の推進に向け、従来の総合戦略を、ICTを活用するデジタル版としてブラッシュアップするための素案を検討、策定した。また、EBPMの推進に向け、庁内の各種データを分析した。
- ・IoTによるセンシング情報やカメラ画像などを集約、可視化する「データ連携基盤」の構築、運用に向け、関係機関や民間企業との連携をサポートした。
- ・市の課題を抽出し、ICTを活用して解決するための「羽咋市版スマートシティ事業提案書」をまとめた。

企業の評価・今後の関わり方

参加理由

- ・羽咋市では約2年前からスマートシティ構想の推進に取り組んでおり、かねてからデジタル人材の力が必要と感じていました。そんな折、約10年前から共同研究に取り組み、2021年に包括連携協定を結んだ金沢大学から本プログラムの案内があり、参加を決めました。

評価（成果・社内変化など）

- ・石政さんには、市が保有する各種データやIoTによるセンシング情報などの整理・分析、デジタル化に必須となる民間企業との連携サポート、行政職員とは違った目線での企画の立案など、専門的な知識がなければできないような仕事に真摯に、能動的に取り組んでいただきました。その成果について高く評価しています。
- ・市が単独で募集するだけでは有能なデジタル人材の採用は難しく、本プログラムを通じて石政さんのような素晴らしい人材と巡り合うことができ感謝しています。金沢大学と連携しているメリットをあらためて感じる機会にもなりました。今後も本プログラムを活用し、新たなデジタル人材を募集したいと考えています。

今後の関わり方

- ・石政さんとは長く関係を続けたく、具体的な進路が決まり次第、引き続きお互いにとってメリットのある連携ができるよう相談したいと思っています。石政さんの今後のキャリアにおいて、この半年間の経験が大いに役立つことを願っています。

研究員の評価・今後の展望

参加理由

- ・静岡県庁に勤務する一方で、社会人学生として立教大学大学院人工知能科学研究科でスマートシティに関する理論について学び、研究してきましたが、理論的な研究だけでなく、実務経験を積みたいと考え、本プログラムに応募しました。

評価（取り組み・生活）

- ・スマートシティ構想の推進に向け、ICT活用に関するサポートや各種データの整理・分析などに取り組んだほか、職員や市民へのヒアリングなど、さまざまな手段で羽咋市が抱える課題を洗い出しました。その上で、例えば市民の健康不安を解消するためのウェアラブル端末の導入など、デジタル技術を使った解決策をまとめ、提案しました。
- ・自治体で実務に取り組むだけでなく、大学で学べる点も非常に有意義でした。実務で困ったことがあっても、大学の教員や他の研究員からアドバイスを得られたおかげで、着実に前進することができました。
- ・羽咋市は自然環境が豊かで、千里浜を走ったり、棚田の景色を眺めに上掛れたり、充実したオフの時間を過ごすことができました。

今後の展望

- ・具体的な進路は未定ですが、4月以降は東京で都市やまちづくりを調査、研究する仕事に就きたいと考えています。羽咋市のスマートシティ構想はまだ緒に就いたばかりであり、今後もその推進に向け、何らかのかたちで携わることができればと思っています。